

科目名	社会的養護 1 (保育士必修)				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2021 年度 前期	単位数	2		
担当教員	鈴木 勲				
内容および計画	社会的養護の基礎原理及び社会的養護下にある子どもの現状、児童福祉施設の役割を学び、養護を必要とする子どもの自立支援のための基礎知識を身に付けていくことを目的とする。また、社会的養護の基礎理念、社会的養護の法制度、子どもの権利擁護などの観点から授業を進めていく。				
1	ガイダンス 講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。				
2	子どもと家庭を取り巻く環境と社会的養護 社会的養護に関する社会的状況について学ぶ。				
3	社会的「養護」と子どもの権利「擁護」とは 子どもの人権擁護と社会的養護について学ぶ。				
4	要保護児童や要保護児童とは何か 社会的養護の制度と法体系について学ぶ。				
5	児童福祉施設の機能と役割について 社会的養護の対象と施設などの運営管理について学ぶ。				
6	家庭と同様の養育環境の保障について 里親を中心とした家庭養護について学ぶ。				
7	社会的養護の変遷について 日本の社会的養護のあゆみ及び諸外国の社会的養護のあゆみを学ぶ。				
8	社会的養護の理念と概念 すべての子どもを社会全体で育むことを学ぶ。				
9	社会的養護の基本原則 実際の社会的養護のケア実践で大切にされていることを学ぶ。				
10	社会的養護の理論について 養護の営みを支えるための諸理論を学ぶ。				
11	社会的養護のしくみと実施体制 社会的養護のしくみについて学ぶ。				
12	社会的養護の専門職に求められる専門性と役割 社会的養護に関わる専門職とその倫理と責務について学ぶ。				
13	被措置児童等の虐待防止 施設や里親で起こりやすい人権侵害や予防対策について学ぶ。				
14	社会的養護の課題と地域福祉 これからの社会的養護のあり方について学ぶ。				
15	全体のまとめと振り返り 本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行う。				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	よりそい支える 社会的養護 I 第 2 版	中山正雄監修 浦田雅夫編著	教育情報出版	9784909378224	2021
参考書	幼稚園教育要領・保育所保育指針 チャイルド本社 (ISBN9784805401224) 社会福祉小六法 ミネルヴァ書房編集部 ※教育要領、保育指針、小六法とも、どの出版社のものでも構い				

	ませんが、新年度のものとする。その他の参考書については、授業内で適宜、紹介する。	
成績評価		
	評価方法	割合(%)
	学期末定期試験	100
定期試験では全体的な基礎知識を問う。社会的養護に関する今日的な課題について、問題意識を持って受講するようにして下さい。		
学習到達目標	1.児童福祉施設における保育士の仕事と役割について学ぶ。 2.社会的養護の原理や理念、仕組みについて理解する。 3.社会的養護領域の事例を活用し、社会的養護を必要とする子どもについての理解を深める。	
先修条件	特になし。	
実務経験	実務経験あり：県庁に15年勤務した経験をもとに、社会的養護の基礎、応用について教授する。	
その他	授業展開は予定であり、授業の進度などにより、内容などが変更される場合もある。	